

ごあいさつ



会長

森田 昇



理事長

平岡 浩房

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より青梅信用金庫に対しまして格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫についてご理解を一層深めていただくために、「AOSYN REPORT 2015」を作成しました。当金庫の経営方針や業績、地域社会貢献活動への取り組みなどにつきましてご報告いたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成26年度の日本経済は、政府による経済政策や円安の進行等により輸出関連の大企業を中心に企業収益が拡大し、経常利益は過去最高水準になるなど経済に明るい兆しが見えた年でありました。一方で、地域経済は従来からの少子高齢化や人口減少、産業の空洞化など国内産業の構造的な課題を抱えており、依然として停滞感が強く厳しい経営環境が続いている状況にあります。また、平成26年12月には政府から「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が示され、各自治体では地域金融機関等の知見を活用することが求められております。当金庫におきましても積極的に関与し、各自治体と連携しながら地域の発展に向けて取り組んでまいります。

このような中で、当金庫は中期経営計画の最終年度として、「地域活性化を推進する信用金庫」の基本方針のもと、“地域への積極的な融資”と“地域社会貢献活動”を通して、地域社会の活性化に積極的に取り組んでまいりました。地域への円滑な資金供給のほかにも、お客さまの抱える様々な課題に応えるため、外部連携機関を活用した課題解決や創業支援、経営改善支援などに全力で取り組んでおりますが、とりわけ、創業支援につきましては地域における開業率の低迷や中小企業・小規模事業者の減少を受け、自治体と商工会議所が連携するワンストップ創業相談窓口等に参画いたしました。また、当金庫の開催する「ビジネス支援マッチング大会」では、創業や新事業・新分野進出に向けた第二創業の相談ブースを設置したりするなど、創業を目指す方へのサポートの充実を図ってまいりました。

今年度は新中期3ヵ年計画を策定し、スタートいたしました。この中期経営計画では、「地域との共生」をテーマとして掲げ、今まで以上に地域社会と深く関わり合い、地域のお客さまと一緒に新たな価値を創造してまいります。創業の精神であります“共存同栄”のもと、全役職員が一丸となり取り組んでまいり所存でございます。

今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成27年7月

企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、
産業の発展と豊かなくらしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かなくらしの実現を目指し、あおしんがお客さまに對してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客さまの信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客さま」「ここに働く役職員」つまり青梅信用金庫を取り巻く人と人との関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

平成26年度は、“地域の豊かな未来の創造”と題した3カ年の中期経営計画の最終年度として、“地域への積極的な融資”と“地域社会貢献活動”を通して、地域社会の持続的な発展に努めてまいりました。

今後も地域のお客さまの豊かなくらしの実現や産業の発展に貢献することを第一に考え、地域の活性化を推進してまいります。

重点課題

1. 地域密着型金融
2. 経営基盤の強化
3. 職員の能力・意欲向上

経営目標

	経営目標(26年度末)	実績
自己資本比率	10.00%	10.17%
不良債権比率	6%台(6.99%)	6.20%
当期純利益	15億円	21億円